



令和6年5月15日 第881号

一般財団法人日本遺族会 千代田区千代田五丁目六番五号 九段南一丁目六番五号 九段南一丁目六番五号 電話 03-3261-5521 00160-6-25389 編集 毎月1回15日発行 定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

# 靖国神社 春季例大祭を斎行 岸田総理が真榊を奉納

靖国神社で最も重要な祭典の一つである春季例大祭が4月21日から23日までの3日間で行された。22日の当日祭には天皇陛下より勅使が差し遣わされ、陛下からの供え物(幣帛)が奉られ、御祭文が奏上された。また、大祭にあたり、岸田文雄内閣総理大臣、衆・参両院議長、水落敏栄日本遺族会会長が「真榊」を奉納した。



本殿に参向する天皇陛下から差し遣わされた勅使 = 4月22日、靖国神社で

靖国神社春季例大祭は4月21日、当日祭に先立って、神職、そして祭儀に用いられる諸具すべてを祓い清める「清祓」が始まり、翌22日には「当日祭」が斎行された。22日午前10時、崇敬者総代や代表参列者など約750人が拝殿と中庭に参列し、大塚海夫宮司が祝詞を奏上した。10時30分頃には、天皇陛下より遣わされた勅使・筑波和俊掌典が随員を従えて本殿に昇殿。天皇陛下よりの幣帛を大塚宮司が神前に奉り、勅使が御祭文を奉り、玉串を奉奠して拝礼した。勅使退下後には、國學院大学フエイエル・コー



水落敏栄本会会長から委嘱状が手交されたブロックアドバイザー = 4月24日、九段会館テラスで

「平和の語り部」事業 ブロックアドバイザー会議開催 戦争の記憶を伝承し、平和の尊さを次世代へ伝える遺族会の平和の語り部事業(以後、語り部事業)の重要性が認められ、3月26日、令和6年度新規補助事業として採択された。これを受け本会は広報室を新設した。今後、事業の普及のため、各地の情報収集、取組を検討し、適宜発信する。語り部の事業化に伴い、本会に語り部事業化推進委員会とブロックアドバイザー(以後、アドバイザー)を設置することは、既報のとおり。

「平和の語り部」事業 ブロックアドバイザー会議開催 遺族会の語り部事業が評価される点は、全国各地で、遺族の戦争体験と共により、地域の歴史(空襲や学童疎開受け入れ等)を伝えていくこと。また講話型に加え、体験型(地域の戦跡や遺構慰霊碑や防空壕跡等)の見学、清掃体験等)を通して、平和の尊さを自分事として捉える機会に寄与しているからである。つまり、画一的ではなく、地域柄を生かした各地の会員の試行錯誤の末に、形作られたところにある。そこで、本会は全国共通の大きな指針は事業化

推進委員会で、各地域の独自性を活かす取組は、アドバイザーに助言してもらおうとした。4月24日初となるアドバイザー会議を開催した。冒頭水落敏栄会長より委嘱状が手交された。地方自治体、中でも教育委員会への依頼を文科省から出してもらいたいとの要望を受け、昨年末、盛山正仁文科大臣へ陳情し、盛山大臣は武見敬三厚労大臣と連携し、協力の方向性を考えること回答した。今回、補助事業に採択されたことにより、厚労省から文科省へ協力依頼が提出されること、文科大臣へ水落会長自ら要望書を届けることが明かされた。また、事業周知のためのイベントを6月から8月を目標に全国で開催する。アドバイザーは各地域からの相談に対し助言する。なお、各アドバイザーへの相談は、各都道府県支部を通して、本会広報室へ寄せてもらいたい。詳細は2面参照。

本会関係者 栄えある受章 春の叙勲 政府は令和6年春の叙勲及び褒章受章者を発表した。栄誉に輝いた本会関係者は次の方々である。 旭日双光章 安齋 満氏(86歳) 日本遺族会常務理事・福島県遺族会会長 旭日単光章 和田昭十四氏(85歳) 日本遺族会元評議員・福井県遺族連合会前会長 旭日単光章 後藤田重喜氏(84歳) 嘱状が手交され、その後アドバイザーの役割と語り部事業周知の取組について説明がなされた。そして、事業周知のため、地方自治体や報道機関への広報と、女性部青年部合同研修会の開催の意図と助言者としての出席が依頼された。出席者から最も重要と指摘されたのは、地方自治体、中でも教育委員会への依頼を文科省から出してもらいたいとの要望を受け、昨年末、盛山正仁文科大臣へ陳情し、盛山大臣は武見敬三厚労大臣と連携し、協力の方向性を考えること回答した。今回、補助事業に採択されたことにより、厚労省から文科省へ協力依頼が提出されること、文科大臣へ水落会長自ら要望書を届けることが明かされた。また、事業周知のためのイベントを6月から8月を目標に全国で開催する。アドバイザーは各地域からの相談に対し助言する。なお、各アドバイザーへの相談は、各都道府県支部を通して、本会広報室へ寄せてもらいたい。詳細は2面参照。

支部長交代 長野県、和歌山県で役員改選が行われ、新会長が就任した。 長野県遺族会 池内 宣訓氏 (4月1日付) 和歌山県遺族連合会 林 康雄氏 (4月5日付)

声なき声 平成11年に建てられた昭和館が今年開館25周年を迎えた。昭和館の入口には、戦没者遺児の慰藉のための建設要望を当時厚生大臣として受けた橋本龍太郎元首相の碑文がある。そこには、風化していくとしていた戦中・戦後の戦没者遺族の労苦を後世に伝承することを昭和館の目的とする主旨が刻まれている。戦没者の妻である当時の中井澄子会長は、開館記念式典で「この館の位置付けが戦没者遺児を始めとする戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世に継承することは誠に重要であり、また戦中・戦後の厳しい時代を生きてきた私どもの責務である」と述べている。自分たちが経験した労苦が忘れ去られていくことを危惧していた全国の戦没者遺族にとって昭和館の建設は念願であったが、そこに込められた切実な思いは広く一般には知られていないかもしれない。来年は戦後80年。戦後生まれが国民の9割にたらんとする今日、戦没者遺族に課せられた責務を果たす時がまさにきている。戦没者遺児の体験を戦没者の孫、ひ孫をはじめとする若い世代に語り継ぐ「平和の語り部」事業を着実に進めていくことこそが、先人が次世代に託した思いに込めることにはなるはずである。(M)

## 靖国神社 みたままつり献灯のご案内

靖国神社みたままつりが、7月13日から16日までの4日間賑々しく執り行われます。ご遺族・崇敬者の方々など、多くの皆様の献灯をお願いいたします。

献灯初穂料 ○小型献灯 1灯につき5千円 ○大型献灯 1灯につき2万円

[お申し込み・お問い合わせ] 靖国神社務所 献灯係 〒102-8246 東京都千代田区九段北 3-1-1 電話:03-3261-8326(代表) FAX:03-3261-8320(直通)

「平和の語り部事業」ブロックアドバイザー紹介

所属	氏名	役職	戦没者との続柄	特記
第1ブロック	伊藤 薫氏	秋田県遺族連合会副会長	遺児	講話者、学校関係者との連携
	岩淵 康晃氏	福島県遺族会理事	遺児	講話者、学校関係者との連携
第2ブロック	福居 一夫氏	本会評議員 埼玉県遺族連合会副会長	遺児	講話者、行政との協同
	間島 英夫氏	新潟県連合遺族会理事	遺児	講話者、行政との協同
第3ブロック	今堀 治夫氏	本会評議員 滋賀県遺族会会長	遺児	戦跡、遺構の紹介語り部
	大東 潤氏	兵庫県遺族会青年部副部長	ひ孫	青年部世代の講話者、教員向け講話
第4ブロック	新宅儀次郎氏	山口県遺族連盟会長	弟	講話者、青年部との協同
	増本 信行氏	岡山県遺族連盟事務局長		県遺族所有の施設を利用した語り部
第5ブロック	西田 富子氏	佐賀県遺族会副会長 兼女性部長	遺児	女性遺児語り部
	鎌田 伸次氏	宮崎県遺族連合会事務局長		県委託事業の実績

相談は各都道府県支部を通して本部広報室へ



昇殿参拝に向かう「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」と水落敏栄本会会長(右端)＝4月23日、靖国神社で

みんなで参

国会議員94人が参拝

参拝者減少に危機感

超党派の議員連盟「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は、靖国神社春季例大祭に合わせ国会議員本人94人が集団参拝した。近年、同議連の参拝者数は著しく減少しており、国会議員の英霊顕彰に対する意識の希薄化が懸念され、戦没者遺族の精神的支柱である靖国神社への参拝の意義が改めて問われる由々しき事態となっている。

4月23日、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は、自由民主

党、日本維新の会、国民民主党などの衆・参国会议員94人が揃って参拝した。参拝した国会議員のうち3人が副大臣、8人が政務官だった。また、大祭期間中に参拝した閣僚は、新藤義孝経済再生担当大臣、高市早苗経済安全保障大臣の二人にとどまった。

同会副会長の逢沢一郎衆議院議員は参拝後の記者会見で「大多数の日本国民が戦後生まれの新しい時代になってきた。戦争の悲惨さ、平和の尊さをしっかりと胸に刻み、後世に語り継いでいく大

切さを念頭に参拝した」と述べた。

参拝者が100人を切る危機的状況が依然として続いており、このままだと靖国神社の存在が形骸化され、新たな国立の戦没者追悼施設の建設構

想の再燃が危惧される。自由民主党 逢沢一郎、青山周平、秋葉賢也、東

組織継承「語り部育成」

島根県各地で研修会

島根県内3カ所で開催された組織継承の研修会。水落敏栄本会会長は、本部担当者から研修会について紹介した。

4月11から12日の2日間、水落敏栄本会会長が島根県内3カ所で開催された組織継承の研修会。水落敏栄本会会長は、本部担当者から研修会について紹介した。



組織継承のため、特用継続と「平和の語り部」事業の重要性を訴える水落会長＝4月11日、安来市で

本会は支部と連携し、8月15日の終戦の日に、国民を代表する国会議員

が一人でも多く靖国神社に参拝するよう、靖国神社のなりたちや、戦没者遺族の精神的支柱である靖国神社への参拝の意義について粘り強く説明し、総理・閣僚等の靖国神社参拝の定着化に向けて陳情運動を展開する。

「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した94人の衆・参議員は次のとおり。

(党派別、敬称略) 議員本人参拝

国幹、石井拓、石川昭政、石橋林太郎、石原正敬、伊東良孝、井上信治、井林辰憲、岩田和親、うえの賢一郎、衛藤征士郎、江藤拓、大串正樹、大西英男、尾崎正直、梶山弘志、金子恭之、川崎ひで

と、柴山昌彦、新谷正義、鈴木英敏、鈴木淳司、瀬戸隆一、高木啓、高島修一、田畑裕明、田村憲久、塚田一郎、津島淳、富樫博之、長坂康正、中谷真一、中野英幸、根本幸典、長谷川淳二、深澤陽一、藤丸敏、古川直季、古川康、古屋圭司、細田健二、堀内詔子、三ツ林裕巳、宮下一郎、務台俊介、武藤谷治、森山裕、築和生、山口俊一、山下貴司、山田美樹、山本左近、若林健太、渡辺博道

【日本維新の会】阿部弘樹、奥下剛光、堀井健智、三木圭恵、岬麻紀、和田有一朗

【無所属】高木毅、仁木博文、福島伸亨

田政宗

【日本維新の会】青島健太、東徹、梅村みずほ

【参政党】神谷宗幣

【NHKから国民を守る党】浜田聡

DNA鑑定の迅速化図る

厚生省・信州大医学部が連携

厚生労働省社会・援護局は、戦没者遺骨収集事業で収容した遺骨の身元を特定するために、国内の鑑定機関(大学)にDNA鑑定を委託しているが、平成16年度から継続してDNA鑑定に協力している信州大学医学部との間で、「信州大学医学部と厚生労働省社会・援護局との連携に関する協定書」を締結することを、

意見。同市も青年部員が事務局を務めており、小川和夫事務局長からは青年部として遺児の語り部をサポートしつつ、子供たちに興味を持ってもらえる導入部の工夫等が紹介された。

4月12日(松江市) 松江市総合体育館会議室において、松江市、旧平田市、仁多郡の遺族60人が参集。冒頭原晴昌副会長が代表挨拶した。同研修会においては、特に慰霊碑の維持管理についての要望があがった。同様の要望は、2月の同県役・職員合同研修会において仁多郡陶山成一事務局長より郡内の慰霊碑のいわれを周知する動画を地元ケーブルテレビ局の協力のもと制作された事例が紹介されたこと

【NHKから国民を守る党】浜田聡

【参政党】神谷宗幣

本会事業 参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

協力することにより、遺骨の鑑定の迅速化及び高度化に寄与することを目的としており、DNAの抽出や解析が難しい事案の研究などに集中して取り組むために、大学内に連携室が設置される。

めないが、次世代へ継承しようという意気込みを語った。

なお、広報が制作した動画(特別用慰霊金継承のための勉強会、平和の語り部事業の紹介)は、5月上旬に各都道府県支部へ発送された。ぜひ活用

いたきたい。

とがないよう、献花墓参を未来永劫続けることが遺族会の使命であるとして毎年行っている。

観音寺支部副会長の植木茂光さんは「会員の減少に歯止めをかけ、遺族会の存続を図るため、会

員に各種事業への参加、参列を呼び掛けている。先人の功績を忘れず、英霊のため、遺族会のため

観音寺支部では、英霊に対する感謝を忘れるこ

献花墓参

観音寺市で

観音寺市遺族連合会観音寺支部は、3月22日、

各地の招魂社、慰霊塔、忠魂塔、軍人墓地等を巡る献花墓参を実施した。

好業  
友事  
慰親  
靈善

# 遺児の参加者募集

## 令和7年度で事業終了へ

日本遺族会が厚生労働省から補助を受け実施する「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」では、令和6年度の参加者を募集している。本事業が終了する令和7年度には、洋上慰霊の実施を予定していることから、フィリピン以外の旧戦域については本年度で最後の実施になるため、一人でも多くの遺児に青年部世代とともに参加願いたい。

日本遺族会が厚生労働省から補助を受け実施する「慰霊友好親善事業」では、令和6年度の参加者を募集している。「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」では、令和6年度の参加者を募集している。



慰霊祭で父の冥福を祈る団員＝令和5年10月29日、パプアニューギニア・ウエワクで

本事業は来年度の令和7年度に終了するが、戦80年及び事業実施35周年を記念し国に要望している洋上慰霊の実施が実現した場合は、令和7年度は洋上慰霊とフィリピン地域のみを実施する予定にしており、他の旧主要戦域については本年度で最後の実施となる。なお、戦争の悲惨さ、平和の尊さを語り継ぐことを目的に、青年部育成の一環として、付添者で戦没者の孫、ひ孫、甥、姪は国より3分の1の補助が受けられるため、是非この機会に一人でも



戦没者遺児の皆さんへ  
戦没者遺児による慰霊友好親善事業への参加募集のご案内  
この事業は、戦没者遺児の皆さんが、戦没者の冥福を祈り、平和の尊さを語り継ぐことを目的に、青年部育成の一環として、付添者で戦没者の孫、ひ孫、甥、姪は国より3分の1の補助が受けられるため、是非この機会に一人でも

慰霊友好親善事業PR用ポスター（イメージ）

### 令和6年度・戦没者遺児による慰霊友好親善事業・実施計画概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 旧ソ連	令和6年8月2日(金)～8月10日(土) ・A班=ハバロフスク、ウラジオストク、ウスリースク ・B班=イルクーツク、チタ	8泊9日 40人	令和6年6月3日
2 旧満州	令和6年8月19日(月)～8月28日(水) ・A班=ハイルル、チチハル、ハルビン、北安、瀋陽 ・B班=大連、牡丹江、延吉(北朝鮮遺拝)、吉林、長春、瀋陽	9泊10日 40人	令和6年6月19日
3 ボルネオ・マレー半島	令和6年8月27日(火)～9月5日(木) ・A班=コタキナバル、ケニンゴウ、プルネイ、ラバン、マレー半島イボ ・B班=バリクパパン、タラカン	9泊10日 40人	令和6年6月28日
4 トラック諸島	令和6年9月7日(土)～9月13日(金) ・春島、夏島、秋島、水曜島及び環礁内洋上慰霊	6泊7日 20人	令和6年7月8日
5 パラオ諸島	令和6年9月7日(土)～9月13日(金) ・パラオ本島、ペリリュー島及び環礁内洋上慰霊	6泊7日 20人	令和6年7月8日
6 西部ニューギニア	令和6年9月18日(水)～9月27日(金) ・A班=ジャヤプラ(旧ホーランジャヤ)、ゲニム、ピアク島 ・B班=ハルマヘラ、マノクワリ、ピアク島	9泊10日 40人	令和6年7月18日
7 マリアナ諸島	令和6年10月4日(金)～10月10日(木) ・A班=グアム島、サイパン島 ・B班=サイパン島、チニアン島	6泊7日 40人	令和6年8月5日
8 東部ニューギニア	令和6年10月18日(金)～10月25日(金) ・A班=マダン、ウエワク、ボイキン、プーツ ・B班=ラエ、サラモア、ウエワク	7泊8日 42人	令和6年8月19日
9 ビスマルク諸島	令和6年10月18日(金)～10月25日(金) ・A班=マヌス島、ニューブリテン島(ラバウル) ・B班=ブカ島、ブゲンビル島(ヌマヌマ)、ニューブリテン島(ラバウル)	7泊8日 40人	令和6年8月19日
10 インド	令和6年10月30日(水)～11月5日(火) ・A班=インパール ・B班=コヒマ	6泊7日 30人	令和6年7月1日
11 フィリピン(1次)	令和6年11月8日(金)～11月15日(金) ・A班=マニラ及び東方山地方(リバ、ルセナ) ・B班=クラーク、マニラ南方(リバ、ルセナ) ・C班=ルソン島北部(バギオ、キャンガン、オリオン岬) ・D班=ルソン島南部(イロイロ)、ミンダナオ島(ダバオ) ・E班=セブ島、レイテ島(タクロバン、ブラウエン、リモン岬、ピリアバ、カンギボット山、オルモック)	7泊8日 120人	令和6年9月9日
12 ソロモン諸島	令和6年11月24日(日)～12月1日(日) ・A班=ガダルカナル島、ツラギ島 ・B班=ニュージョージア島(ムンダ)	7泊8日 40人	令和6年9月24日
13 台湾・パシフィック	令和7年1月17日(金)～1月23日(木) ・A班=台北、台中、高雄、墾丁 ・B班=台北、花蓮、台東、墾丁	6泊7日 40人	令和6年11月15日
14 西部ニューギニア(特定地域)	令和7年2月3日(月)～2月12日(水) ・A班=ジャヤプラ(旧ホーランジャヤ)、ゲニム、ピアク島 ・B班=マノクワリ、ソロン、ピアク島	9泊10日 36人	令和6年12月3日
15 東部ニューギニア(特定地域)	令和7年2月14日(金)～2月21日(金) ・A班=マダン、ウエワク、ボイキン、プーツ ・B班=ボボンデッタ、ギルワ、ウエワク	7泊8日 36人	令和6年12月13日
16 ミャンマー(特定地域)	令和7年2月20日(木)～2月28日(金) ・A班=ヤンゴン、ベゲー、トングー、マンダレー ・B班=ミートキーナ、マンダレー、アキャブ	8泊9日 36人	令和6年12月20日
17 ギルバート諸島	令和7年2月28日(金)～3月8日(土) ・タラワ	8泊9日 20人	令和6年12月25日
18 マーシャル諸島	令和7年3月1日(土)～3月9日(日) ・クエゼリン、マジュロ	8泊9日 20人	令和6年11月1日
19 フィリピン(2次)	令和7年3月11日(火)～3月18日(火) ・A班=マニラ及び東方山地方(リバ、ルセナ) ・B班=クラーク、マニラ南方(リバ、ルセナ) ・C班=ルソン島北部(バギオ、キャンガン、オリオン岬、アパリ) ・D班=ルソン島南部(イロイロ)、ミンダナオ島(ダバオ) ・E班=セブ島、レイテ島(タクロバン、ブラウエン、リモン岬、ピリアバ、カンギボット山、オルモック)	7泊8日 120人	令和7年1月10日
20 中国	令和7年3月21日(金)～3月29日(土) ・A班=北京、鄭州、太原、長沙 ・B班=上海、武漢、重慶、成都 ・C班=香港、台北、高雄、台北 ・D班=南京、長沙、重慶、成都	8泊9日 80人	令和7年1月20日

多くの遺児に青年部と共に参加願いたい。募集要項は次の通り。時期及び地域実施

計画概要参照。参加費 10万円。東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関は自身の手配となる。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続き手数料等費用は、個人負担となる。

参加資格 戦没者の遺児。(周辺公海上を含む実施地域で父等を亡くした方に限る) 申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査には、申込書の記載内容を確認するため、事前に申込書を取り寄せ、記入項目に不明な点、戦没者の部隊等は各遺族会に相談し、記入した上で提出願いたい。なお、申込多数の場合には選考となる。

実施地域や時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合がある。参加者の高齢化を考慮し、看護師が同行する。実施計画概要参照

代替え地域を検討 慰霊友好親善事業 本会は、「令和6年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業」で実施を予定している地域で、訪問する相手国内の政治情勢やビザ取得申請等の影響により実施が困難な地域について、代替え地域を検討している。

船舶借上げ予算要望 令和7年度洋上慰霊 日本遺族会では、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」で、令和7年度の洋上慰霊の実施に向けて準備している。

### 日本遺族会への賛助金のお礼

本会の活動に賛同し、賛助金を寄せていただいた左記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。なお、賛助者の都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合があります。省略します。

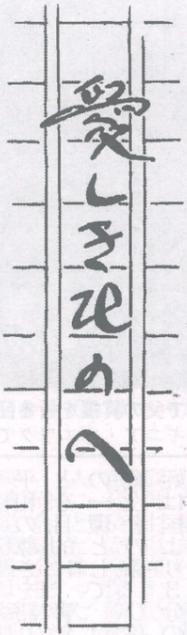
賛助者名(敬称略・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)  
安田久美、奥田正勝、関谷忠、吉田章市、西口隆久、新島敏明、轟木保子、富岡義基、寺崎聰子、小田桐温子、重松美美子、井出正孝、上城政廣、樋口利一、丸山萬平、三宅昇、保木登茂子、星勲、有間昭人、堀清明、弓場貞子、楠本武、石川昌司、サトウタダユキ(以上、4月1日から4月末日まで)

皆様からいただいた賛助金は、本会が実施している英霊顕彰、戦没者遺族の処遇改善、戦没者遺骨収集事業等さまざまな遺族会活動に利用させていただきます。

# 昭和館 『失われゆく昭和の仕事』 開館25周年記念写真展

昭和館では、開館25周年記念企画として「失われゆく昭和の仕事―戦中・戦後の街頭風景―」と題する写真展を開催している。今では見かけることの少なくなった昭和の仕事を紹介するもので、昭和初期から30年代前半にかけての写真46点が展示され、当時を知る人は懐かしく、知らない人には新鮮に映る貴重な内容となっている。

昭和館の2階ひろばで催している。昭和の時代は生活や価値観が大きく変化し、技術革新や流行の推移も著しかった風景の写真が展示されている。



父上様 母上様

陸軍少尉 藤沼 喜一

昭和二十年一月七日  
フィリピン・リンガエン湾にて戦死  
栃木県芳賀郡祖母井町祖母井出身二十一歳

父上、母上様  
喜一の今日の知らせを御喜び下さい。  
大命に依り特別攻撃隊員に参加出来ることとなりました。  
喜一の心には、何の未練もありません。只此の名譽を喜んでおります。  
五尺の体を以て三十年來の國土を防護するのです。武人の本懐、否、男子の本懐です。  
齡二十歳にして比島沖に散る。米艦船目がけて八〇〇 疋の爆弾を抱き突込む様を御想像下さい。勇ましいでは有りませんが。  
東航入校以來三ヶ年の努力も今日有るを思へばこそです。  
父上、母上様も今後共、御体を大切に御暮らし下さることを靖國の社より御祈り申します。

昭和十九年十二月十六日

藤沼喜一

父上様  
母上様

十二月一日 伍長に任官致しました。

※「東航」は東京陸軍航空学校の略称

【令和六年五月靖國神社頭掲示】  
愛しきものへ

昭和初期の写真では、かき氷売りや浅草寺境内の鳩の餌売りの写真が紹介される。また、「白襟嬢」と親しまれた路線バスの乗客を運ぶ自転車タクシーの姿も写っている。

2024年 3/12(土)・6/30(日)  
昭和館2階ひろば  
10:00-17:30(入館は17:00まで)  
休館日 毎月第1日 (4/29・5/6・9/27は開館)  
会場 昭和館(千葉県市川市昭和館1-1)

## 九段短歌

選者 村田 信昌

去りがたくセスナは二周す慰靈に來し父の戦地のペリ  
リユーの空  
青森県 田中 恭子  
靖國の桜満開父帰る母なき今誰と語れば  
福島県 柴田 征子

父の手に触れし印鑑手にすれば凍れるシベリア我に頭  
ち来る  
栃木県 西村三千代  
終戦の知らせを待たず逝きし父沖繩の海に夢を沈めて  
愛知県 近藤 淳子

年々に清掃メンバー減りゆけど慰靈碑に誓う遺族の絆  
愛知県 高橋 園子

## 大分県で開催へ 昭和館巡回特別企画展

昭和館では、関係機関の協力を得て、平成13年から毎年二カ所で巡回特別企画展を開催しており、昨年度は、奈良県と宮城県で開催し、好評を博した。  
本年度、大分県では、6月19日(水)より30日(日)にかけて、大分市にある大分県立美術館を会場とし、東京にある国立施設「しよけい館」平和祈念展示資料館と同時開催で巡回特別企画展を行う。  
昭和館は、「くらしにみ

## 寄せ書き日の丸返還 福島県、鹿児島県で

戦没者等の遺留品返還に伴う調査事業で、支部遺族会や市遺族連合会の調査によって遺族が判明した福島県、鹿児島県で日章旗が遺族に返還された。  
福島県 いわき市と二本松市でそれぞれ遺族に日章旗が引き渡された。

3月21日、いわき市遺族連合会事務所へ返還式が開催され、清水良祐市遺族連合会会長から、宏さんの長男の孝明さんに日章旗が手渡された。  
二本松市では、本会に直接、ニューメキシコ州在住のマイケル・ロブソンさんが元米兵の祖父が戦地から持ち帰った日章旗の調査依頼があり、持ち主が昭和20年8月10日にフィリピン・ルソン島で戦死した斎藤孝道さんであることが分かり、二本松市遺族連合会の調査で遺族の所在が判明した。



清水良祐いわき市遺族連合会会長(左端)から日章旗を受け取った田中孝明さん(中央)は3月21日、いわき市で

地方たより  
各支部で実施された研修会は次のとおり。  
宮城県 4月18日  
宮城県市町村遺族会研修会  
会大崎市遺族会25人  
徳島県 4月29日  
令和6年度徳島県遺族会役員等研修会(230人)

る昭和の時代 大分展」と題し、大分県遺族会連合会、日本遺族会第五ブロックの協力で、戦中・戦後における人々のくらしとその労苦について紹介し、寄せ書き日の丸や軍事郵便など、大分県にゆかりのある資料を含めて、実物資料・写真・映像を120点ほどを展示する。  
また、大分県宇佐市出身の漫画家麻生豊の作品「銀座復興絵巻」のほか、大分県にゆかりのポスターを紹介する特設コーナーも設けられる。  
会場では戦中・戦後の証言映像や、ニュース映画も上映される。  
本展示に関する問い合わせは、昭和館学芸部(電話03-3222-2577)まで。

マイケルさんが日本へ郵送した日章旗は、孝道さんの甥の故斎藤勇夫さんの妻愛子さんに届けられ、4月9日、二本松市役所での返還式で、三保恵一市長、斎藤徳仁市遺族連合会会長らが立ち合い、披露された。  
OBONソサエティから本会に調査依頼があったリノイ州在住のマシュー・P・ゴンドリングさんが元アメリカ兵の父親から譲り受け保管していた日章旗が、戦後復員し、既に亡くなっている田中宏さんのものであることが分かった。  
3月21日、いわき市遺族連合会事務所へ返還式が開催され、清水良祐市遺族連合会会長から、宏さんの長男の孝明さんに日章旗が手渡された。  
二本松市では、本会に直接、ニューメキシコ州在住のマイケル・ロブソンさんが元米兵の祖父が戦地から持ち帰った日章旗の調査依頼があり、持ち主が昭和20年8月10日にフィリピン・ルソン島で戦死した斎藤孝道さんであることが分かり、二本松市遺族連合会の調査で遺族の所在が判明した。